

今年の夏もSTEAMだ！

イベント情報

エキキタものづくりサイエンスDAY 開催決定！！

ものづくりや科学を楽しく学べるSTEAMイベント「エキキタものづくりサイエンスDAY」の開催が決定しました！ドキドキワクワクが詰まった1日になること間違いなし！おもちゃ交換会「かえっこバザール」も実施します。ワークショップでポイントを集めて、おもちゃをゲットしよう！

開催日時：令和8年8月9日(日)10:00～15:00

場 所：富士市交流プラザ・富士駅北まちづくりセンター

イベントの詳細や昨年のようすは、こちらのウェブサイトをチェック！⇒



【おながい】おもちゃの事前寄付を受け付けています！

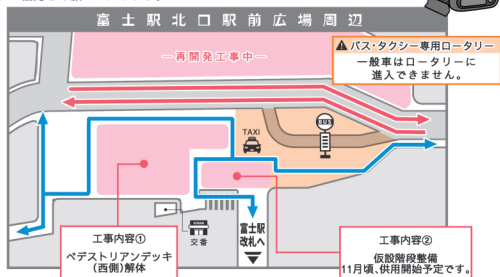
「かえっこバザール」に出品するおもちゃを集めています。ご自宅に遊ばなくなったおもちゃや絵本等がありましたら、寄付をお願いします。受付期間や場所等の詳細は、上記ウェブサイトからご確認ください。



富士駅北口リニューアル工事

8月以降の工事内容・動線について

令和8年8月から、富士駅北口駅前広場において、以下の工事を実施します。これに伴い、駅前広場内の動線に変更が生じます。ご理解・ご協力をお願いいたします。



※その他、富士駅北口リニューアルプロジェクトの概要や工事の詳細等については、こちらのウェブサイトをご確認ください。

【発行】富士市市街地整備課 TEL:0545-55-2797 MAIL:to-shigaichi@div.city.fuji.shizuoka.jp

子どもたちの探求心をかきたてたい！ 地元企業の熱い想い！

今回は「エキキタものづくりサイエンスDAY」にご協力いただいている東洋レジン・イーシーセンターの担当者にインタビューしてきました。ものづくりの魅力や、未来のエキキタへの想い、期待などを掘り深めたいと思います！

お話を伺うのはこの方々！ ① 役職・お名前・マイブームを教えてください。



会社やお仕事について

① どんなことをしている会社さんですか？

◆井出さん：東洋レジン、プラスチックの加工会社です。射出成型や押出成型といった技術を用いて、医療部品などを作っています。原料は富士市のCNF※と香料を混ぜ込むことで、プラスチックに香りづけをしたり...なんていうこともできます！

◆海野さん：イーシーセンターは、建物の解体会社です。解体・ショッキングセンター・建築など、色々なものを手がけています。今まさに、富士駅北口のビル解体も進めているところです。振動や騒音をできるだけ低減させるために様々な工夫をしています。

◆宮尾さん：解体で出た廃棄物のリサイクル事業も行っています。また、ドローンやアプリの活用など、DX化に向けた新たな技術の開発・導入にも力を入れています。

② 普段の仕事の中で、楽しさややりがいを感じるのはどんな瞬間ですか？

◆井出さん：お客さんの「やりたい」をチーム全員で形にできた瞬間です。みんなで目標を達成することにやりがいを感じます。

◆海野さん：「イーシーセンターさんに頼んでよかった」と言ってもらえる瞬間はもちろんですが、イベントで外部の人と触れ合っている時にもやりがいや楽しさを感じます。

◆宮尾さん：やりたいことを何でもやらせてもらえるところですね。ドローンもそうでした。すぐに会社にはなくても、誰かの笑顔につながるものであれば積極的にチャレンジできることは、この会社の魅力だと思います。

③ この仕事はどんな人が向いているのでしょうか？

◆井出さん：探求心やチャレンジ精神のある人です！色々なことに「なんで？」とこれぞなんなの？と疑問を抱き、「知りたい！」と思える人ですね。

◆森下さん：昔の産業のイメージって「燃やして埋める・捨てる」だと思ってしまうんですが、今はリサイクルが最先端です。原料を生み出す製造工場に近いんですね。ものづくりや機械に興味のある人が向いていると感じます。



ものづくりの魅力



みんなでつくる
エキキタ
Let's get started.
エキキタ通信 Vol.16
2026 Summer

エキキタものづくりサイエンスDAYについて

エキキタものづくりサイエンスDAYは、富士駅北口駅前広場敷地内に整備する「ものづくりSTEAMラボ」のPRを目的としたイベントです。両社は、これまですべての国で働き方をいかに、3Dプリンターのワークショップとドローンの体験体験で多くの子どもたちの心を掴んでいます！

① イベント参加の決め手はなんでしたか？

◆井出さん：3Dプリンターに触れる経験を通じて、ものづくりに興味を持つ子どもが増えるという思いで参加しました。富士はものづくりのまちですから、このイベントをきっかけにものづくりの分野に進み、活躍してくれる若者が一人でも増えるという思いで、毎年出展しています。

◆海野さん：一番は「富士駅周辺を盛り上げたい」という思いです。私も富士市で生まれ、このまちにはたくさんのお客さんで賑わっているので、恩返しをしたい気持ちがありました。ワークショップの中心は、アイデアマンの発想に大きな信頼を置いていたものであり心配していなかったです。

② イベントで印象に残っているシーンなどはありますか？

◆井出さん：1回目の開催時に仲良くなった子どもたちが、2回目の時も開場してすぐにブースに来て「また来たよ！」と言ってくれたんですよ。泣きそうになりました。

◆海野さん：とてもいいエピソードですね。この話を聞いただけでも、今日来て良かったです。

◆森下さん：ドローン体験で、小さい子は大人が後ろから補助してあげてくれるんですが、「一人でやる！」と言って手を振り払う子が時々います。そういう子を見ると今後の成長がとても楽しみに感じます。

③ 今年度の意気込みをどうぞ！

◆井出さん：毎年来てくれる子たちが去年と同じくらいと聞けるのがすごく嬉しいんです！新しい驚きを生み出せるよう、自分も楽しみながら準備を進めています！

◆海野さん：今年はこれまでのワークショップとは全く異なるものを作ろうと、準備を進めています！お楽しみに！

◆宮尾さん：新しい技術を取り入れたら不安でもあり、楽しみでもあります。「まずはやってみよう」の精神で、頑張ります！

未来のエキキタや子どもたちへの期待

④ 最後に、ものづくりSTEAMラボや未来のエキキタのまちづくりへの期待や想いをおきかせください！

◆井出さん：いま、富士市には子どもたちがらって笑顔に立ち寄り何かを作れるような場所があまりないですね。そういったことができる施設が駅前になるのはすごくいいことだと思います。きっと、良いまちになりますね。製造業が豊富な富士市には、先生になれる人材がたくさんいますからね！

◆海野さん：少子化が進む中、子どもたちは未来を担う大切な存在であり、彼らがものづくりに触れる機会や場所を作ることが、自分たちが、富士市にとって大きな財産になります。我々としても、ほかの企業さんと一緒に協力していきたいと思っています。

◆森下さん：ものづくりに興味を持ってもらううえで、一番大切なのはドローンや3Dプリンターのようなハードに実際に触れてもらうことだと思います。新しくできるラボが、「まず触れてみる」ことができる場になるとすごく素敵です。

◆宮尾さん：富士市ののびのびとした環境を生かして、世界を背負っていくような人も出てくると思います。子どもたちの可能性を広げられる場になるといいですね。

